

令和6年度第2回摂津市産業振興アクションプラン懇話会 議事録

- 日時 : 令和6年11月28日(木) 13時00分～14時40分
- 開催方法 : オンライン併用
(実会場) 摂津市役所 南千里丘分室 産業支援ルーム
- 出席者 : 岩橋 亮 委員 山田 匡規 委員 谷川 幸広 委員
小川 佳美 委員 小石 英司 委員 島内 嘉紀 委員
橋口 勝利 委員
- 事務局 : 鈴木、山下、緒方、上田、福田 (摂津市産業振興課)
- 配布資料 : ① 次第
② 【資料1】第3期産業振興アクションプラン素案
③ 【資料2】令和5年度の取組みについて
④ 摂津市産業振興アクションプラン懇話会委員名簿
- 議題 : ① 第3期摂津市産業振興アクションプランの策定について (資料1)
② 令和5年度の取組みについて (資料2)
③ 「せっつキッズファクトリー2024」実施報告
④ 次回の懇話会について

座長

それでは時間となりましたので、「令和6年度第2回産業振興アクションプラン懇話会」を開催いたします。本日もよろしくお願いいたします。まず初めに、第3期産業振興アクションプラン素案について、議論していきたいと思っております。初めに事務局より資料1の説明をよろしくお願いいたします。

事務局

(事務局より、②【資料1】第3期産業振興アクションプラン素案について説明)

座長

説明が終わりました。まずは今の説明の部分について、委員の立場からご意見やご

質問ございませんか。

委員

創業者への支援については、創業する際の資金的なサポートも大事ですが、創業後の継続したサポートがより大事だと思います。そのあたりは事務局としてどうお考えでしょうか。

事務局

創業後の経営をしっかりと波に乗せるという意味で、伴走支援が必要です。市ではコンサルタントを派遣して、経営相談を行う事業を実施していますが、複雑化する経営課題に対して、多様化するニーズに合った専門家をさらに増やし、経営相談ができるサポートが必要だと考えています。

委員

コンサルタントを派遣した後が大事であると思います。事業者自身も、経営に関して指導を受けた後、その後の事業展開に活かせるよう努力するべきだと思います。

事務局

素案21ページの「課題の整理」の部分で、「連携の強化」をピックアップしています。コンサルタント派遣のほか、摂津ビジネスサポートセンターで創業者の伴走支援をしています。事業所同士のマッチングの場がもっと必要だと思います。新規創業者同士や、創業者と既存事業者のマッチングの場を強化していく必要があると感じます。摂津市鉄工会は情報共有が活発に行われているので良いモデルケースだと思います。

事務局

摂津市鉄工会のような団体は他にあるのでしょうか。

委員

無いと思いますが、今年度、摂津飲食防災ネットワークが発足し、事業者同士でも協働する意識が芽生え始めています。

委員

既に実施している「鳥飼なす ONE グランプリ」のような、同業種における横の繋がりが重要です。

委員

23ページの展開1についてですが、オープンファクトリーに言及するのであれば、事業所の社員のモチベーションアップまで効果があるということを明記してほしいと思います。また万博だけではなく、それ以外の展示会や商談会にも積極的に参加し、

ものづくり企業のPRを推進してほしいと思います。

委員

12ページの摂津ビジネスサポートセンターの相談件数の推移を見ると、一定の成果が表れていると感じますが、その理由については抜本的に調査をしていくべきです。

13ページの創業件数の増加についても同じことが言えると思います。さらにいえば、創業相談の後にどれだけ実際に創業に繋がったか、という部分まで調査することが重要になると思います。

7ページにおける産業構造の変化については、増加している建設業や運輸業に対するアクションも必要だと思えます。

28ページの展開8の部分で、障がい者やひとり親家庭の母親等に目を向けている部分は、多様性を認めるという意味で非常に良いと思うのでぜひ計画に盛り込んでほしいと思います。

委員

事業者だけでなく、まちづくりとして捉え、住民の方にも目を向ける必要があります。地元の工場と住民の繋がりは今後の摂津市のまちづくりで重要な要素であり、「せつつキッズファクトリー2024」で子どもたちと繋がったように、地域との繋がりをさらに拡大していく必要があると感じます。

事務局

せつつキッズファクトリーだけでなく、摂津市教育委員会には「摂津市キャリア教育応援企業等登録制度」があり、また小学校等の行事で、ものづくり体験を企画する中小企業が出てきている等、子どもたちとの関わりが増加してきていることを感じていますので、市としても継続して取り組んでいきたいと考えています。

委員

大きい商業施設を作る土地はないのでしょうか。

事務局

鳥飼地域で実施したアンケートから、商業施設を作ってほしいというニーズは実際にあります。主旨とは異なるかもしれませんが、27ページの展開6のところで、観光について発掘と発信を強化していきたいと考えていますので、市民や事業者の声を聞きながら、まちづくりという広い視点で検討していきたいと考えています。

委員

個人商店への支援も継続してほしいと思います。先日、市内唯一の本屋が閉店し、個人の本屋が1件もない状態に陥りました。同じく写真屋や豆腐屋等、少なくなって

しまったお店にも支援をしてほしいと思います。

委員

「ものづくりのまち」として、東大阪市のようにもっとブランディングしていくべきだと思います。例えば大規模な展示会に「摂津市」として出展し、知名度を上げていくような活動が求められていると思います。また工場見学についても、年間カレンダーを作り、恒常的に市内の工場で見学ができるようにするなどすれば、観光事業にも繋げていけるのではと感じます。

委員

23 ページからの成果指標について、目標数値をシビアに検討すべきかと思います。目標数値を達成することが目的ではないですが、「増加」ではなく数値を示すべきだと思います。

事務局

ご意見ありがとうございます。皆様の意見を反映し、次回に最終版を提示させていただければと思います。

座長

皆様ご意見ありがとうございます。次に、令和5年度の取組みについて事務局から説明をお願いいたします。

事務局

(事務局より、③【資料2】令和5年度の取組みについて説明)

座長

説明が終わりました。説明の部分について、委員の立場からご意見やご質問ございませんか。

委員

地域を盛り上げるには、マルシェのような取組みが必要ではないでしょうか。令和5年度に実施した南摂津駅のマルシェ（おすんでひらく文化祭）はもう実施しないのでしょうか。

委員

予算の問題で継続的な実施は難しくなったようです。三島自治会が三島公園でお祭

りを開催する等、自治会レベルでの動きも活発になってきていますので、「摂津イベントナビ」でぜひご覧になってください。

座長

それでは一定のご意見も出ましたので、次に事務局から「せつつキッズファクトリー-2024」の実施報告をお願いいたします。

事務局

(事務局より、③せつつキッズファクトリー-2024の実施報告)

座長

説明が終わりました。ご意見やご質問ございませんか。

委員

参加企業としての意見ですが、新しい発見があったとともに反省点も多いイベントでした。財政的な面についても反省点が多くあったので、次年度は使い道を精査していく必要があると思っています。来場者にとってはとても貴重な経験をしていただいたと思いますし、子どもたちが将来、職業選択をする際に、今回の経験を少しでも思い出してくれたらと思います。

委員

小学生をメインターゲットにされていたと思いますが、小学校の先生に来てもらって現場を知ってもらうことも大事ではないでしょうか。

事務局

小学校の先生に来てもらうというご意見は、実行委員会でも出なかったのが新鮮な視点でした。次年度の課題とさせていただきます。

委員

先ほども申し上げた通り、工場と住民が繋がる良い機会になったのではと思います。また、実施してみたら事業所の中で様々な気付きがあり、コミュニケーションが活発になったということも大変意味があることだと思います。子どもだけでなく、例えば子育て層にも来てもらう工夫をすれば、より良いイベントになるのではと感じました。ぜひアクションプランにも位置付けてほしいと思います。

座長

委員の皆様たくさんのご意見ありがとうございました。本日の議題は以上です。最

後に次回の懇話会について事務局から説明をお願いいたします。

事務局

(事務局より次回の懇話会日程の提示)

座長

次回の懇話会日程につきましては、改めて事務局より開催通知があります。これをもって、本日の「令和6年度第2回摂津市産業振興アクションプラン懇話会」を終了いたします。